

時代	古墳時代	遺跡	平神社古墳（隠岐の島町）
隠岐の古墳を調べよう ～隠岐最大の古墳 平神社古墳～ 八尾平野の北西に位置する丘陵に造られた平神社古墳は、古墳時代後期（6世紀後半）に築かれた前方後円墳です。全長 48m と隠岐最大の古墳で、葺石や円筒埴輪の破片が発見されているので、築造当時は葺石と埴輪で装飾されていた古墳であったことがわかります。			



図 1 平神社古墳の測量図



図 2 現在の平神社古墳の全景

平神社古墳は、隠岐の島町平森脇にある小さい丘の突端部に位置し、全長 48m の隠岐最大の前方後円墳です。

後円部は直径 28m、高さ 5.5m あり、前方部の斜面には葺石があります。石室は後円部の中心からずれた場所にあるため、他にも石室があると考えられています。

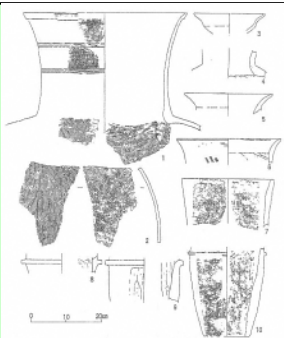


図 3 出土遺物

遺物は埴丘の上から見つかっています。円筒埴輪のかけらが 10 片、須恵器の大甕や土師器の壺などが出土しました。



図 4 石室

石室は横穴式で、くびれ部に近い後円部に位置しています。奥の壁や横側の壁に自然石や割石を使用しています。奥行きは 8 m、奥壁の幅は 2 m 位です。

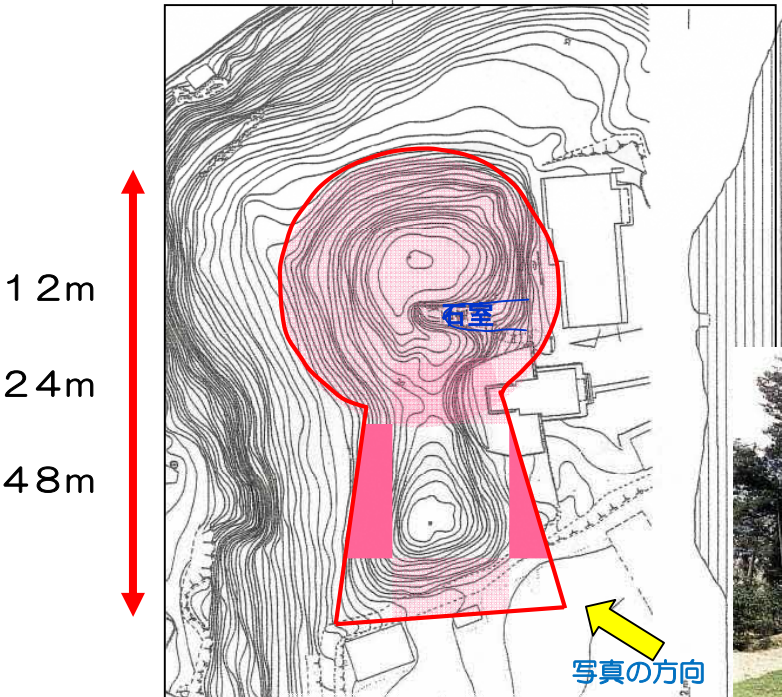


出典：解説…（図 1・3・4）「石見・隠岐の主要古墳一覧」『島根考古学会誌』第 22 集 2008 本庄考古学研究室
（図 2）『日本の古代遺跡 20 島根』 1985 保育社

～隠岐の古墳を調べよう～

年 組 名前

隠岐には、400 基以上の古墳が造られています。最も大きな古墳は、6 世紀後半に造られた平神社古墳です。



平神社古墳の測量図

Challenge

① 平神社古墳の長さは何 m でしょう？
正しいと思う長さに○をつけましょう。



現在の平神社古墳の全景

②古墳の形を見て、気がついたことを書きましょう。



③ 右の写真は平神社古墳の「石室」です。
「石室」とは石を積み上げて作った部屋で、その中に人を埋葬しました。
現在はこわれていますが、昔は、高さが約 1m50 cm、幅が約 2m、奥行きが 8m 以上もの大きさでした。
どんな人が、埋葬されていたと思いますか。



平神社古墳の石室